

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	卒業論文		
担当教員	辰田 和佳子		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	水 5		
講義室	1205	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	8
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1 探求と論拠（30%） G1 状況把握（10%） H1 論理的思考（30%） I2 量的分析（10%） I3 情報分析（10%） J2 創造的思考（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	本学科での4年間に渡る経験を基に、各学生の興味関心の高い体育スポーツに関する幅広い学問領域を踏まえながら卒業論文としてまとめることを目的とします。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。そして卒業論文提出までに定期的な報告会を設定し、1年を通して卒業論文をまとめていきます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード 文献精査、研究、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する4年間の研究成果 ■授業の目的 4年間で学習した内容を基に自身で研究課題を設定しこれまでの講義・演習で学んだ研究方		

	法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、論文としてまとめることができることを目的とします。 ■授業のポイント これまでゼミナール、スポーツ栄養学演習等で学習した研究方法を用いて客観的データから食生活の課題とその解決策に迫り、その成果を論文という形にまとめます。			
総合到達目標	■研究を遂行するために、自身またはグループ間で各研究に関する検討を重ね、自ら研究計画を立案、作成し、計画を進め、さらに結果の考察までを論文としてまとめる能力を修得する。 ・先行研究をまとめ、自身の研究と関係づけられる。(第1回～8回) ・統計手法を学び、調査結果が示すことを具体的に述べられる(第9回、10回) ・得られた結果から、先行研究や他の要因をふまえ、考察を述べられる。(第23回～25回) ・研究の背景から考察まで、客観的な視点から示すことができる。(第13回～30回) ■研究の意義を示すために、他者との議論を積極的に行い、自身またはグループの研究内容を吟味し、論文に反映する能力を修得する。 ・他者との議論や発表を通してコミュニケーションできる。(第11回～30回) ・他者との議論から得られた改善点を解決し、研究の改善に適用できる。(第11回～30回)			
成績評価方法	■プレゼンテーション(20%)：適用ルーブリック F1・H1・I2・I3・J2 (評価の観点) 自身またはグループの研究実践経過および結果を定例的(月1回)に発表し、その内容について評価を行います。 (フィードバックの方法) 各発表後に講評を行います。 ■論文(70%)：適用ルーブリック F1・H1・I2・I3・J2 (評価の観点) 作成したプレゼンテーション内容について評価を行います。 (フィードバックの方法) 最終発表後、個別に面談を行います。 ■授業参加度(10%)：適用ルーブリック G1・H1 (評価の観点) 他受講者への発表に対して発言、質問、意見の交換など授業構築への参加を記録し評価します。			
履修条件	「ゼミナールⅠ(SSCS4605)」「ゼミナールⅡ(SSCS4606)」を履修していること			
履修上の注意点	自主的に取り組むこと			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒業論文の進め方や評価について説明を行い、論文作成を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業論文作成を通して何を学ぶかについて説明する。 ③予習(300分) ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(300分) ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身で取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業論文完成にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身で論文をまとめていく過程を整理する(F1・H1)。 ③予習(300分) 前期授業内容および中間発表を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習(300分) 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ エビデンステーブルと研究小史① ②授業概要 先行研究を整理し、過去の研究でわかっていること、いないことを整理し、受講者が作業仮説を説明できるようにする。また調査方法と項目を検討し根拠を説明できるようにする(F1・H1・I3)。 ③予習(300分) エビデンステーブルの整理を行う。 ④復習(300分) 不足する研究論文を読み、追加する。	17	①授業テーマ 調査と統計法③ ②授業概要 調査データを用いて、データの整理法、統計法(どの方法を用いるか、どのように用いるか)を学び、受講者が統計手法を活用できるようにする(I2・I3)。 ③予習(300分) データの整理を行う。 ④復習(300分) 統計結果をどのように活用するかを考察する。
	3	①授業テーマ エビデンステーブルと研究小史②	18	①授業テーマ 調査と統計法④

	②授業概要 先行研究を整理し、過去の研究でわかっていること、いないことを整理し、受講者が作業仮説を説明できるようにする。また調査方法と項目を検討し根拠を説明できるようにする（F1・H1・I3）。 ③予習（300分） エビデンステーブルの整理を行う。 ④復習（300分） 不足する研究論文を読み、追加する。	②授業概要 調査データを用いて、データの整理法、統計法（どの方法を用いるか、どのように用いるか）を学び、受講者が統計手法を活用できるようにする（I2・I3）。 ③予習（300分） データの整理を行う。 ④復習（300分） 統計結果をどのように活用するかを考察する。
4	①授業テーマ エビデンステーブルと研究小史③ ②授業概要 先行研究を整理し、過去の研究でわかっていること、いないことを整理し、受講者が作業仮説を説明できるようにする。また調査方法と項目を検討し根拠を説明できるようにする（F1・H1・I3）。 ③予習（300分） エビデンステーブルの整理を行う。 ④復習（300分） 不足する研究論文を読み、追加する。	①授業テーマ 結果の整理と図表作成① ②授業概要 得られたデータを図表としてまとめ、結果の意味を説明できるようにする（I2・I3）。 ③予習（300分） 図表の作成を行う。 ④復習（300分） 教員および受講者間のディスカッションから変更が必要な項目について修正する。
5	①授業テーマ エビデンステーブルと研究小史④ ②授業概要 先行研究を整理し、過去の研究でわかっていること、いないことを整理し、受講者が作業仮説を説明できるようにする。また調査方法と項目を検討し根拠を説明できるようにする（F1・H1・I3）。 ③予習（300分） エビデンステーブルの整理を行う。 ④復習（300分） 不足する研究論文を読み、追加する。	①授業テーマ 結果の整理と図表作成② ②授業概要 得られたデータを図表としてまとめ、結果の意味を説明できるようにする（I2・I3）。 ③予習（300分） 図表の作成を行う。 ④復習（300分） 教員および受講者間のディスカッションから変更が必要な項目について修正する。
6	①授業テーマ 調査項目の決定① ②授業概要 目的および先行研究から、受講者が質問紙やインタビューにおける調査項目決定し、調査手順についても説明できるようにする（F1・H1）。 ③予習（300分） 調査項目および手順について詳細に計画する。 ④復習（300分） 教員および受講者間とのディスカッション、プレ調査により変更が必要な項目について修正する。	①授業テーマ 結果の整理と図表作成③ ②授業概要 得られたデータを図表としてまとめ、結果の意味を説明できるようにする（I2・I3）。 ③予習（300分） 図表の作成を行う。 ④復習（300分） 教員および受講者間のディスカッションから変更が必要な項目について修正する。
7	①授業テーマ 調査項目の決定② ②授業概要 目的および先行研究から、受講者が質問紙やインタビューにおける調査項目決定し、調査手順についても説明できるようにする（F1・H1）。 ③予習（300分） 調査項目および手順について詳細に計画する。 ④復習（300分） 教員および受講者間とのディスカッション	①授業テーマ 中間発表② ②授業概要 追加、修正を加えた研究内容をプレゼンテーションにて説明、質疑応答に対応できるようにする（F1・G1・H1・I3）。 ③予習（300分） プレゼンテーションの練習および質疑応答表の作成をする。 ④復習（300分） 教員および他の受講者からの講評内

	ョン、ブレ調査により変更が必要な項目について修正する。		容、対応できなかった質問に対して、回答となるようプレゼンテーション資料を修正する。
8	①授業テーマ 調査項目の決定③ ②授業概要 目的および先行研究から、受講者が質問紙やインタビューにおける調査項目決定し、調査手順についても説明できるようにする（F1・H1）。 ③予習（300分） 調査項目および手順について詳細に計画する。 ④復習（300分） 教員および受講者間とのディスカッション、ブレ調査により変更が必要な項目について修正する。	23	①授業テーマ 考察① ②授業概要 結果から、緒言と対応するよう考察する。受講者はなぜその考察が導かれたのか説明できるようにする（H1・J2）。 ③予習（300分） 比較となる先行研究を確認する。 ④復習（300分） 目的、結果と整合性がとれていない考察を修正する。
9	①授業テーマ 調査と統計法① ②授業概要 調査データもしくはダミーのデータを用いて、データの整理法、統計法（どの方法を用いるか、どのように用いるか）を学び、受講者が統計手法を活用できるようにする（I2・I3）。 ③予習（300分） データの整理を行う。 ④復習（300分） 統計結果をどのように活用するかを考察する。	24	①授業テーマ 考察② ②授業概要 結果から、緒言と対応するよう考察する。受講者はなぜその考察が導かれたのか説明できるようにする（H1・J2）。 ③予習（300分） 比較となる先行研究を確認する。 ④復習（300分） 目的、結果と整合性がとれていない考察を修正する。
10	①授業テーマ 調査と統計法② ②授業概要 調査データもしくはダミーのデータを用いて、データの整理法、統計法（どの方法を用いるか、どのように用いるか）を学び、受講者が統計手法を活用できるようにする（I2・I3）。 ③予習（300分） データの整理を行う。 ④復習（300分） 統計結果をどのように活用するかを考察する。	25	①授業テーマ 考察③ ②授業概要 結果から、緒言と対応するよう考察する。受講者はなぜその考察が導かれたのか説明できるようにする（H1・J2）。 ③予習（300分） 比較となる先行研究を確認する。 ④復習（300分） 目的、結果と整合性がとれていない考察を修正する。
11	①授業テーマ 中間発表資料作成① ②授業概要 これまでに検討した背景、目的、調査方法を整理し、プレゼンテーション資料を作成し、説明できるようにする（F1・H1）。 ③予習（300分） プレゼンテーション資料を作成する。 ④復習（300分） 教員および受講者間のディスカッションにより検討が必要な項目について修正する。	26	①授業テーマ 文献整理 ②授業概要 研究に用いた先行研究を示す際のルールを説明し、受講者が整理できるようにする（I3）。 ③予習（300分） 対応する先行研究を整理しておく。 ④復習（300分） 不足している論文を収集し整理する。
12	①授業テーマ 中間発表資料作成② ②授業概要 これまでに検討した背景、目的、調査方法を整理し、プレゼンテーション資料を作成し、説明できるようにする（F1・H1）。	27	①授業テーマ 論文修正① ②授業概要 卒業研究発表会に向け、スライドもしくはポスターを作成し、研究内容の説明ができるようにする（F1・H1・J2）。 ③予習（300分）

	③予習（300分） プレゼンテーション資料を作成する。 ④復習（300分） 教員および受講者間のディスカッションにより検討が必要な項目について修正する。	初めて聞く人にもわかりやすい説明ができるよう表示方法、説明文言を考察する。 ④復習（300分） わかりにくい点を修正する。
13	①授業テーマ 中間発表会① ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う（F1・G1・H1）。 ③予習（300分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	①授業テーマ 論文修正② ②授業概要 卒業研究発表会に向け、スライドもしくはポスターを作成し、研究内容の説明ができるようにする（F1・H1・J2）。 ③予習（300分） 初めて聞く人にもわかりやすい説明ができるよう表示方法、説明文言を考察する。 ④復習（300分） わかりにくい点を修正する。
14	①授業テーマ 中間発表会② ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う（F1・G1・H1）。 ③予習（300分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	①授業テーマ 最終発表会① ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う（F1・H1・J2）。 ③予習（300分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。
15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身の研究をまとめていくための討議を他者を含めて行う（F1・G1・H1）。 ③予習（300分） 自身の発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習（300分） 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	①授業テーマ 最終発表会②およびまとめ ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける（F1・G1・H1・J2）。 ③予習（300分） 自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける。 ④復習（300分） 自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける。
関連科目	「ゼミナールⅠ（SSCS4605）」「ゼミナールⅡ（SSCS4606）」	
教科書		
参考書・参考URL		
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜3限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントとることにより、研究室で対応します。	
研究比率		

